

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 : ニューカーグレイズ
会社名 : 株式会社創新
住所 : 東京都豊島区上池袋4-11-16ノックストールビル3階
電話番号 : 03-3918-3100
FAX番号 : 03-3918-3511
推奨用途 : 自動車用ボディ研磨剤
使用上の制限 : 業務使用

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分3
健康に対する有害性	生殖細胞変異原性	区分2
	発がん性	区分1A
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(呼吸器、腎臓)
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	区分3
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分3

GHSラベル要素

絵表示またはシンボル



注意喚起後

危険有害性情報

危険

引火性液体および蒸気
 遺伝性疾患のおそれの疑い
 発がんのおそれ
 長年にわたる、または反復ばく露による呼吸器、腎臓の障害
 長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 容器を接地しアースを取ること。
 容器を密閉しておくこと。
 防爆型の電気/換気/照明等機器を使用すること。
 火花を発生させない工具を使用すること。
 静電気放電に対する措置を講ずること。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 使用前に取扱説明書を入手すること。
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
 取扱い後は手をよく洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 環境への放出を避けること。

応急措置	皮膚または髪に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。 火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。 気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。
保管	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
廃棄	施錠して保管すること。 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
成分 :

化学名	含有率	CAS番号	化審法番号	安衛法		PRTR	毒劇
				表示	通知		
水素処理重質ナフサ*1	1-5%	64742-48-9	9-1694	≥1%	≥1%	非該当	非該当
石英(結晶)	5-10%	14808-60-7	1-548	≥0.1%	≥0.1%	非該当	非該当
クリストバライト	5-10%	14464-46-1	1-549	≥0.1%	≥0.1%	非該当	非該当
非晶質シリカ	5-10%	112945-52-5	1-548	非該当	非該当	非該当	非該当
水素処理重質ナフサ*2	0.5-1.5%	68551-16-6	9-2459	≥1%	≥1%	非該当	非該当
水素化精製重ナフテン系石油留分*3	0.1-1%	64742-52-5	9-1692	≥1%	≥0.1%	非該当	非該当
軽油(石油精製中沸点留分)*4	1-5%	64741-44-2	対象外	≥1%	≥0.1%	非該当	非該当
水素化精製軽質留出物(石油)*1	5-10%	64742-47-8	9-1694	≥1%	≥1%	非該当	非該当

*1: ミネラルスピリットとして *2: 石油ナフサとして *3: 鉱油として *4: 軽油として

4. 応急措置

吸入した場合	:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	:	多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当を受けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	:	直ちに、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当を受けること。
飲み込んだ場合	:	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤	:	粉末消火剤、耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素、散水
使ってはならない消火剤	:	棒状注水
火災時の特有の危険有害性	:	火災によってCO ₂ 、CO等の有害性のガスを発生するおそれがある。 蒸気は引火点以上の温度では、着火源により着火します。 蒸気は空気より重く、着火源までフラッシュバックすることがあります。 空容器でも残留物が残っていると着火の危険性があります。
特有の消化方法	:	自給式呼吸器などのフル保護装置なしで火災現場に立ち入らないこと。 消火作業は可能な限り風上から行う。 危険な蒸気と分解生成物から安全な距離および場所から消火する。

6. 漏洩時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

流出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用する。
 風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

流出した製品の河川、水路、下水溝などへの流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

回収

少量の場合は吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸収させ取り除いた後、残りをウエス等によくふき取る。
 多量の場合土砂等(の不燃物)で囲って流出を防止し、スコップ又は吸引機などでから容器に回収する。

中和

「13. 廃棄上の注意」に従い適切に処理する。

二次災害の防止策

こぼれた場所は滑りやすいために注意する。
 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い上及び保管上の注意

取扱い

技術的対策(局所排気、全体換気等)

空气中濃度を管理濃度、許容濃度以下に保つために、適切な全体換気または局所排気を行う。

取扱者のばく露防止の記載

取り扱いは、換気の良い場所で行う。
 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」にある混触危険物質と接触しないように取扱う。

衛生対策

取扱い後は、手、顔をよく洗い、うがいをする。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で、容器を密閉し保管する。
 日光から遮断すること。
 保管温度 : 2℃~35℃
 施錠して保管する。

安全な容器包装材料

オリジナルの容器に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

安衛法	未設定
-----	-----

許容濃度

日本産業衛生学会	結晶性シリカ	0.03mg/m ³ (吸入性粉塵)
	鉱油ミスト	3mg/m ³
ACGIH	シリカ、結晶-石英 TWA	0.025mg/m ³ (吸入フラクション)

保護具

呼吸用保護具	適切な呼吸器保護具
--------	-----------

手の保護具
 眼の保護具
 皮膚及び身体の保護具

ゴム手袋
 安全眼鏡、安全ゴーグル
 長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	液体
色	緑色
臭い	炭化水素臭
融点／凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	100°C
可燃性	可燃性
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	情報なし
引火点	38°C
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	～8-10
動粘性率	情報なし
溶解度	水に対する 混合する
n-オクタノール／水分配係数 (log値)	情報なし
蒸気圧	情報なし
相対密度	情報なし
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
その他データ	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常取り扱いでは安定。
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	強酸化剤、強酸、強アルカリ
危険有害な分解生成物	二酸化炭素、一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性	経口	通常の工業的使用において有害性はない。
	経皮	通常の工業的使用において有害性はない。
	吸入	通常の工業的使用において有害性はない。
皮膚腐食性／刺激性		皮膚刺激することがある。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性		マイナーな刺激、流涙や発赤を引き起こす可能性があります。
呼吸器感作性又は皮膚感作性		情報なし
生殖細胞変異原性		遺伝性疾患のおそれの疑い
発がん性		発がんのおそれ

生殖毒性	製品や成分が先天性欠損症の増加を示す情報は有りません。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	情報なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	長期間或は繰り返しばく露により呼吸器、腎臓の障害。
誤えん有害性	情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	この物質は長期継続的影響により水生生物に有害
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし
他の有害影響	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。

汚染容器及び包装

内容物を完全に除去した後に処分する。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上輸送：	IMOの規定に従う。
国連番号	UN3295
品名	炭化水素類、液体(他に品名が明示されていないもの)
国連分類	3
容器等級	Ⅲ
海洋汚染物質	-

航空輸送：	ICAO/IATAの規定に従う。
国連番号	UN3295
品名	炭化水素類、液体(他に品名が明示されていないもの)
国連分類	3
副次危険性	なし
容器等級	Ⅲ

緊急時応急措置指針番号(NAERG) 128

国内規制

海上規制情報	船舶安全法の規定に従う
航空規制情報	航空法の規定に従う
陸上規制情報	消防法の規定に従う

その他

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
直射日光を避けて輸送する。

15. 適用法令

化学物質排出管理促進法	非該当
労働安全衛生法	通知・表示義務物質

	石油ナフサ、ミネラルスピリット、鉱油、軽油、シリカが該当。
有機則	第3種有機溶剤等
毒物及び劇物取締法	石油ナフサ、ミネラルスピリットは合計5%以上で該当。
消防法	非該当 危険物第4類 第二石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ

16. その他情報

ITW Evercoat SDS reversion number 5

本SDSは下記規格に準拠して作成しています。

JIS Z 7252:2019 「GHSに基づく化学品の分類方法」

JIS Z 7253:2019 「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法

-ラベル、作業内容の表示及び安全データシート(SDS)」

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の実用を前提としたもので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。